

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんばんは、らくだです。

最後に車を運転したのは、教習所の卒業試験で、およそ10年前の出来事です。

はっはっは！

今はもう、アクセルが右か左か、正直言ってわからないぞ！

いや、笑ってる場合じゃないですね。

たぶん右だと思いますが、次に車に乗ることになったら、ちゃんと確認しようと思います。

さてさて。

今日は免許更新へ行ってきました。

これまで門真の試験場で更新していたんですが、引越して遠くなったこともあり、初めて地元の警察署で更新しました。

そしたら講習会の会場がマンションの一部屋で、しかも他に受講生がおらず、まさかのマンツーマン指導だったという（汗）

待てよ！

マンションで個別指導とか、家庭教師状態じゃねーか！

まあとにかく、更新は無事に済んだので、交付日を待ちたいと思います。

あとそれから、昨日で9月が終わり、今日から10月です。

繰り返しになりますが、投稿完了組の皆様は、本当にお疲れ様でした。

9月は締切りが多かったですが、10月もSDやHJなど、色々な締切りがありますね。

徐々に涼しくなって、執筆もはかどる秋！

自分も投稿しますが、参戦する皆様は、共に頑張りましょう！

こんばんは、らくだです。

ここ最近、暑いのか涼しいのかわかりませんね。

中途半端な時期ですが、体調など崩さないよう、皆様もお気を付けください。

さてさて。

なろう系コンペの、エリュシオンノベルコンテスト（通称なろうコン）。

今月頭に第3回の開催が告知され、それと同時に、作品の受付が始まった模様です。

【応募要項】

<http://www.wtrpg9.com/novel/youkou.html>

受付期間 : 10月1日(水)～来年1月30日(金)

応募方法 : 作品をアップして「なろうコン大賞」のキーワードを設定

選考方法 : あらすじ、作品の内容にて選定

1次発表 : 来年3月下旬

最終発表 : 来年6月下旬

賞金&特典 : 100万円&書籍化

協賛出版社 : 主婦の友社、新紀元社、宝島社、双葉社、ポニーキャニオン、マイクロマガジン社、冒険企画局、クラウドゲート株式会社

なんか最近、なろう系のコンペが多すぎて、全容を把握しきれない状態です……。

なろうコンと、ヒーロー文庫と、小説家になろう大賞と、AR（アリアンローズ文庫）と。

え、ちょっと待って、どれがどの賞だったっけ？（汗）みたいな。

まあでも、せっかくの情報なので、一応紹介だけしてみました。

参加希望の方がもしいらっしゃれば、例によって、リンク先の情報をご覧くださいませ。

こんばんは、らくだです。

えんため大賞の大幅リニューアルについては、以前このブログにも書きましたが、このたび募集部門が追加された模様です。

今までは、募集の枠が8つあって、右下が「近日公開」だったんですよね。
今日何気なくサイトを見たら、その枠が埋まっていました。

【えんため大賞】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/index.html>

以下、説明の文章です。

エンターブレインとヤマハによるボーカロイド楽曲部門です。自動作曲機能により歌詞だけ作れば応募できる「ショートソングコース」と本格的に作詞・作曲できる「フルソングコース」の2コース。受賞者は作家デビューの道も！

というわけで。

今回登場した新部門は、ボーカロイド楽曲部門。

詳細はまだ不明ですが、これ面白そうですね！

歌詞だけで応募可能？

受賞したら、作詞家デビューじゃなく、作家としてデビューできるの？

等々、細かい疑問点は色々ありますが、近いうちに詳細が発表されると思うので、追加情報を楽しみに待ちたいところです。

こんばんは、らくだです。

フィギュアスケートのジャパン・オープンをテレビ観戦しました。

いや～！

宮原選手のミス・サイゴン、素晴らしかったですね～！

真っ赤な衣装も素敵でした。

パッと見は派手だけど、でも演技が始まったら、むしろそれが上品に見えて。

プログラム（振付け）もイイですよ。

何気ない所作にすごく品格があって、思わず見入ってしまうような感じ。

宮原選手って真面目で控えめな印象ですけど、演技中はすごく堂々としている（ように見える）ので、そのギャップもまた魅力的だと思います。

それから、男子で印象に残ったのは、やっぱり無良選手ですね。

なんか、4回転の跳び方が変わりました……よね？

たしか昨シーズンまでの助走は、スリーターンじゃなかったような。

無良選手のプログラムも、すごく本人に合っていると思うので、現段階でもすでに素晴らしいと思いましたが、ここからさらに磨きをかけて行って欲しいです。

とまあ、そんなこんなのジャパン・オープンでしたが、今月下旬からは早くもグランプリシリーズが始まります。

まずはGPアメリカですが、出場予定の日本選手は、町田樹選手と今井遥選手。

開幕まであと3週間ほどありますが、素敵な演技を期待したいと思います。

こんばんは、らくだです。

例によって、検索キーワードを確認していたところ、「小説落選、納得できない」という単語を発見しました。

よしよし。

落選してショックなんだな。

今夜はオレの胸で思いきり泣いていいぜ。

という、意味不明な煽りはさておき、自分なりにマジレスしてみます。

これたぶん、「納得できない → でも納得しなきゃいけない →それができなくてモヤモヤの悪循環」って状況ですよな。

そういう場合、無理に納得する必要はないと、自分は個人的に思っています。

「ああ、この賞はわかってくれないな。じゃあ次へ行こう」でいいんじゃないかと。

すでにその出版社と契約しているとか、どうしてもそのレーベルで受賞したいとか、そういう事情がない限り投稿先は自由に選べますからね。

なので、どうしても落選に納得できない時は、無理やり納得しようとするんじゃなく、納得できない気持ちをモチベーションに変えて、次の投稿の糧にしてみたらどうでしょうか。

まあ、ヘタレ投稿者の自分が言っても、あんまり説得力はないですが……（汗）

でもらくだ図書館を見てくれた方が、落選でモヤモヤしていると思うと、やっぱり他人事ではないですからね。

なかなか難しいとは思いますが、早く心の整理がついて前向きになれることを、心の底から祈っております！

こんばんは、らくだです。

ラブタメ大賞の「あと一步の作品」が、公式ホームページで発表されました。

【発表ページ】

http://japanlovestory.jp/information/first-vol_10/3237.php

応募総数 444 作品

1次通過作品 16 作品

あと一步の作品 15 作品

というわけで。

あと一步に選出された作品は、全部で15本だった模様です。

しかしこれ、前からずっと気になっていたんですけど、あと一步に選ばれるってどういう心境なんだろうね？

自分の作品が掲載されて嬉しいのか、それともあと一步で通過できなかったことが、逆にものすごく悔しいのか。

うーん……。

心情的には後者ですかね……。

なんてことを勝手に想像しつつ、そういう自分自身が送った作品は、そのレベルまで全然到達できなかったわけですが（汗）

いいさ、いいさ、どうせオイラは1次落ちだい……！

ともかく、これで1次が終わって、次は来月中旬の2次発表。

自分は落ちてしまいましたが、日ラブは講評も載りますし、チェックしようと思います。

こんばんは、らくだです。

紹介するのを忘れていましたが、パブーの9月分をアップしました。

らくだ図書館（33）

<http://p.booklog.jp/book/90486>

毎月続けているうちに、33冊目になりました。

ブログと同じ内容ですが、過去ログをまとめて読めるので、ご興味ある方は是非どうぞ。

まあ、そんなこんなで。

活動歴がやたらと長いせいか、こんな自分も、たまにファンレターを頂きます。

うおおおおおん！

ありがとう、みんな、ありがとう！

いやもう、月並みな言い方ですが、ファンレターって嬉しいですね。

自分はへっぽこ投稿者で、送る作品はいつも落選、評価シートも酷評ばかり。

こんな人間が小説を書いても、読者を楽しませるところか、むしろ害なのかもしれない。

そういうやり場のない気分になった時、こんな自分にも応援者がいるんだという事実は、何よりも一番大きな支えになります。

というわけで。

個別に返信はしておりますが、ファンレターには本当に励まされていると、改めて主張する記事を書いてみました。

やっぱり、読者に支持してもらえるのは、書き手にとって一番嬉しいことですからね。

こんな感じのマイペース人間ですが、らくだ図書館を、これからもよろしくお願いします。

こんばんは、らくだです。

例によって、検索キーワードを確認していたところ、「小説投稿、CD、入れ忘れ」という単語を発見しました。

えっと、これは……。

データの同梱が必要な賞なのに、入れ忘れた状態で、投稿しちゃったんですかね……。

しかし、あきらめるのはまだ早い！

出版社に連絡すれば、個別に対応してもらえる場合もあるぞ！

賞によっては無理かもしれませんが、「CDのみ送ってください」とか、「一式揃えた状態でもう一度投稿してください」とか、そういう対応をしてくれる場合もあるようなので、投稿先の出版社に実際に確認してみるのがよいかと思います。

やっぱり、悔しいですもんね。

せっかく自信作を送ったのに、規定違反で落選になるなんて。

ちなみにMOJさんは、規定違反で投稿してしまうと、「規定違反につき評価不可能」と書かれた選評を送ってくれるらしいですね（汗）

なんか……。

わざわざ教えてくれるなんて、すごく親切なのか、逆に嫌がらせのつもりなのか……。

まあ、とにかく。

投稿時の規定違反は、しないに越したことはありません。

応募要項をしっかりと熟読する、封をする前に内容物を再確認する、慌てて作業しないよう余裕を持ったスケジュールを組む……等を、徹底するようにしたいものです。

証明写真の機械で撮った写真が満足いく出来じゃなかった時の無力感は無量大。

いや。

だってね。

プリクラの場合は、失敗して変な顔になっても、逆に楽しめるじゃないですか。

付き合いはじめの恋人だったら、二人で大笑いして、急接近できるかもしれません。

でもね。

こっちは一人なのよ。

撮影のためにわざわざスーツを着用して、900円という高い写真代を払ったのに、出てきた自分の写真が変顔だったなんて、その場で絶望するしかないじゃない！

ちなみに、こんな時。

失敗写真を無駄にしない方法は、検定や資格試験に使うことです。

多くの検定は写真が必要ですが、用途は試験当日の本人確認です。

なので、そういう機会に使ってしまえば、写真を捨てずに有効活用できちゃいます。

しかし、HSK（中国語の試験）に失敗写真を貼ったら、認定書にその写真（半目の状態）が印刷されてしまい、合格の喜びが消え去ったという寂しすぎる失敗談が……。

というわけで、合格時に写真が使われるかは、事前にしっかり確認しましょう。

あ、今回の失敗写真は、納得がいかなかったので、違う機械で撮り直しました。

顔が変なのは生まれつきですが、撮り直した方は、自分なりに割と納得できました。

最初に撮った失敗分は、何年かかるか不明ですが、資格試験で消費しようと思います。

フィギュアスケートファンなら絶対に観戦したい、全日本選手権のチケット情報が公開されました。

ちょっとばかり長いですが、以下、情報を転記しておきます。

【チケット発売情報】

http://skatingjapan.or.jp/whatsnew/detail.php?id=2308&sports_id=2

【競技日程】

12月26日（金） 男子 SP、アイスダンス SD、ペア SP

12月27日（土） 女子 SP、男子 FS

12月28日（日） アイスダンス FD、ペア FS、女子 FS

【チケット価格】

アリーナ 12,000 円

S 席 10,000 円

A 席 7,000 円

【プレイガイド一般発売日】

11月1日（土） 12:00～

今年の全日本の会場は、長野ビッグハットです。

自分には行けませんが、参加される皆様が良席をゲットできるよう、祈っておきます。

あとそれから、10月10日（金）～13日（月）の間、NHK杯のチケットの2次発売が実施されています。

2次にしては珍しく、抽選による販売です。

ここには詳しく書きませんが、ご興味のある方は、イープラスなどをご覧ください。

こんばんは、らくだです。

皆既月食の時に撮った写真。

バルコニーが東向きなので、最初から最後まで、たっぴりと観察できました。



これは18時くらいの、始まる前の状態です。

眩しすぎる満月が、ビルのちょうど真上で、神々しい光を放っています。

で、せっかくだから5分おきに撮ろうと思ったんですが、いざ撮ってみたら写真があまりにもショボすぎて、ガッカリして撮影するのをあきらめました（汗）

まあ逆に言うと、写真で残せないくらい現物がキレイだった、ということです。

普段は天体とか興味ないんですが、そんな自分でも、思わず見惚れてしまいました。

というわけで。

水曜は天気には恵まれましたが、どうやらまたまた、大型台風が来ているようで。

なんだか今年は、台風の当たり年ですね……。

「過去最大の台風」が、今年の夏から秋にかけて、すでに3回くらい来たような……。

こればかりは自然現象なので、文句を言うわけにもいかないんですが、連休中に旅行や外出をされる方々は十分に気を付けてください。

ちなみに自分は、台風接近中の週末は、予定を組まないようにしています。

台湾旅行にも支障が出たし、淀川花火も中止になったし、これ以上邪魔されたくない！

でも逆に、皆既月食の日みたいに、気持ちよく晴れる日も多いんですよね。

今年の天気は気まぐれですが、とにかく台風には、充分注意しようと思います。

こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

今週末に開催された、フィンランディア杯。

嬉しいことにテレビ放送があったので、ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、プロトコルは公式サイトで確認できます。

【フィンランディア杯】

<http://www.finlandiatrophy.com/>

羽生選手は腰痛で欠場となりましたが、本郷理華選手が女子3位で表彰台！

彼女のダイナミックな演技は、リンクの上で映えますよね。

G Pシリーズにも2試合出場ということで、今シーズンの活躍が今から楽しみです。

あと、それから。

来週の土曜日以降、ジュニアG Pシリーズが、BS朝日にて毎日放送されます。

【BS朝日特設ページ】

<http://www.bs-asahi.co.jp/figure-junior/>

待望のJ G P放送！

どうもありがとうBS朝日！

時間は深夜ですが、ジュニアの試合は今まで放送されなかったので、ありがたいです。

さすがに真夜中2時は厳しいので録画で見ますが、シニアの開幕より一足前に、たっぷり観戦を楽しみたいと思います。

こんばんは、らくだです。

迫りくる台風の影響で、雨が降ったりやんだりしたせいか、窓から虹が見えました。

時間は朝の9時くらいです。

写真では伝わりにくいですが、とても弧が長く大きな虹です。



ところで、台風の名前って、謎だと思いませんか？
誰がどういう方法で、いつ、何を基準に決めるのか。

気になってネットで調べてみたら、意外なトリビアを発見しました。

【台風の名前（気象庁）】

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/1-5.html>

この情報によると、

- ・ 台風委員会（日本ほか14か国が加盟）が決定
- ・ あらかじめ140個の名前がリストアップされている
- ・ 毎回台風が発生するごとに、リストの名前を順に付ける
- ・ 台風の年間発生は約26個なので、おおよそ5年で最初の名前に戻る

ということです。

リストを見ると、可愛い系から格好いい系まで、様々な名前が用意されています。

特に実用的な知識ではないですが、飲み会などで友達に披露したら、「へえー」と言ってもらえそうですね。

最後に話を戻しますが、今年は本当に、台風がよく来る年です。

次の台風はまだ発生していないようですが、これ以上被害がないことを祈りたいです。

毎年この時期になると、「電撃、評価シート、いつ頃」、「電撃、選評、届かない」といった検索キーワードが、目に見えて増えます。

みんな、落ち着け！

評価シートが届くのは、基本的に11月だぞ！

まあしかし、自分も投稿者ですし、検索したくなる気持ちはわかります。

そんなわけで、過去のデータを載せておきますね。

去年も載せたんですが、昔の記事を探すのは大変だと思うので、再度アップします。

【電撃の評価シートの到着日】

第16回（2009年）	11月18日（水）
第17回（2010年）	11月1日（月）
第18回（2011年）	11月4日（金）
第19回（2012年）	11月5日（月）
第20回（2013年）	11月11日（月）

はっはっは！

こんなデータを持っているなんてスゴイだろ！

まあ実際は、何年もデビューできないから知っているわけで、あまり自慢できることではないんですが……
(汗)

ちなみに自分が落選した回については、投稿仲間さんの情報を元にしていきます。

あと普通郵便なので、住んでいる地域によっては、多少前後するかもしれません。

とにかくそんなわけで、電撃の評価シートが届くのは、一番早くても半月後。

内容が気になるところですが、それまで辛抱強く待ちましょう。

こんばんは、らくだです。

富士見ファンタジア大賞の1次発表がありました。

【ファンタジア・1次】

http://www.fantasiataisho.com/contest/28th_first.php

応募総数 824作品

1次通過 125作品

通過率 約15%

1次通過された皆様はおめでとうございます。

2次もその次も通過することを祈っております。

あと、それから。

すでに1週間遅れの話題（汗）ですが、ラノベ文芸の受賞作が発表されました。

【ラノベ文芸・受賞作】

http://www.fantasiataisho.com/contest/2nd_bungei.php

ちなみに、どうしてチェックが遅いかというと、自分は最終まで行けた経験がないから、「受賞作の発表は他人事」という思いがあるからです。

よくない思考だとは思いますが、やっぱり、どうしてもそうなりますよね……。

1次発表なら、自分も頻繁に経験しているので、興味を持って見に行けるんですが……。

ともかく、通過者&受賞者の皆様は、おめでとうございます！

ファンタジアの2次発表は、来月下旬予定のようなので、自分は今回送っていませんがチェックしようと思います。

もうだいぶ前ですが、自分とはある投稿者さんに、ひそかに憧れておりました。

その方は、ブログやツイッターなど、積極的に活動なさっていました。
当時の自分は、投稿仲間がいなかったのので、それを見て励まされていました。

ですが。
なかなか思うような結果が出ず、おそらく、疲れてしまったんでしょう。

結局その方は小説投稿をやめてしまって、ブログに残されていた最後の言葉は、「夢はいつか叶うなんて大嘘だ」という文章です。

自分はそれを見て、まずはハッとして、その後涙が出てきました。

夢を叶えようとして頑張ってきたのに、辿り着いたのがそんな結末だったなんて、あまりにも悲しすぎるじゃないですか。

もちろん、作家は誰もがなれる職業ではないし、やめるのも一つの判断だと思います。
やめようとしている人に、「続ける！」なんて言えないし、言える権利もありません。

でも、結果的にやめることになっても、その時は前向きにやめたいですよ。
その投稿者さんのように、絶望してやめるのは、何より本人が一番つらいでしょうし。

という出来事があった後、自分はブログを始めました。

その投稿者さんに直接届くことはないでしょうが、たくさん励まされた分を返すのが、残された自分の使命じゃないかと思ったわけです。

まあ、だから何ってこともないんですが、ふと思い出したので書いてみました。
突然マジ語りしましたが、明日からはまた、普通の更新に戻ります。

前回の記事に対して、詳しく知りたいという反響があったので、続きを書いてみます。

まず、どこのブログかという質問ですが、もうアカウントごと消えているので、検索してもヒットしないと思います。

それに、やめてしまった人を紹介するのも、なんだかちょっと微妙ですからね。申しわけありませんが、その部分は匿名ということで、よろしくお願いします。

で、まあ。

夢は叶わない発言ですが、そう言いたくなる気持ちは、正直すごくわかります。投稿ブログなんて書いておきつつ、自分も頻繁に、そういう精神状態になっています。

でもここで、声を大にして、あえて主張したい。

私達の人生が一つの物語だとしたら、どこにエンドマークを打つかは、自分で決めていいんですよ。

その投稿者さんにしてみたって、作家になる夢は叶わなかったかもしれないけれど、違う夢を探してそれを叶えることはできるかもしれません。

(1) 作家になれなかった ⇒ 夢は叶うなんて嘘だ 【完】

(2) 作家になれなかった ⇒ 夢は叶うなんて嘘だ ⇒ 作家以上の天職を見つけた ⇒ 私の本当の夢はこれだったんだ 【完】

たとえば(1)はバッドエンドですが、(2)ならハッピーエンドですよ。

途中まで起こったことは一緒でも、自分次第で、その出来事の意味は変えられます。

そういう自分も落選ばかりですし、偉そうに話せるような立場ではありませんが、投稿がどうしようもなくツラくなった瞬間に、この話を思い出してもらえたらなあーと思います。

いつか小説投稿をやめるとしても、絶望してやめちゃうのはツライから、やめる時は前向きな気持ちでやめたいし、その後さらに他の夢を見つけられたら素敵だよね- 2014.10.18 Sat

こんばんは、らくだです。

しつこいですが、前回の記事について、ちょっと補足しておきます。

まず大前提として、自分は「夢は叶うなんて嘘」という発言を非難しているわけではないし、逆に「信じれば夢は叶う」という思想を流布したいわけでもありません。

もし投稿をやめたいならば、やめたらいいと思います。

それはもう、本人が決めることであって、他人が口を出せる問題じゃないですし。

ただ、いつか小説投稿をやめるとしても、絶望してやめちゃうのはツライから、やめる時は前向きな気持ちでやめたいし、その後さらに他の夢を見つけられたら素敵だよね、と。

そう思ったわけですよ！

今のが自分の主張ですからね！

強調したいのでタイトルにも入れました！

ま、なんでこんな弁解っぽい記事を書いているかというと、「『夢は叶うなんて嘘』っていうのは一理あると思います」というコメントを、予想以上にたくさん頂戴したからです（汗）

いや、そりゃそうですよ。

自分だって、そう思っちゃう瞬間、すごく頻繁にありますもん。

どれくらい頻繁かっていうと、まあ概算して、5分に1回くらいですね！（爆）

とにかく、「信じれば夢は叶うだって？らくだは能天気なヤツだ」と思った方がいたなら、「いやいや、別にそう言いたかったわけじゃないよ〜」と。

というわけで、今回個別のお返事はしておりませんが、納得できない部分があれば答えますので、是非ともお知らせくださいませ。

こんばんは、らくだです。

3日連続で真面目な記事を書いたら、「そろそろいつものギャグお願い」という、謎のリクエストをいただきました。

いや、待ってくれ！

らくだ図書館はギャグブログじゃないぞ！

投稿について真剣に語るのが、むしろ本来のあるべき姿だ！

っていうか。

ここにギャグを書いたことなんて、正直言って一度もありませんよ。

え、なに？

自信满满で、カレンダーに発表日を書き込んだのに、落選した件？

自転車で行った図書館が、往復30キロもあって、お尻を痛めてしまった件？

それ、ギャグじゃなくて、ただの実体験です（白目）

ああそれから、歯ぎしりが激しくて奥歯が欠けたのも、実体験ですね。

スーパーのレジ中に、財布じゃなくてペンケースを開けたのも、普通に実体験ですし。

はっはっは！

ただの実体験で、読み手の笑いを誘えるなんて、スゴイだろ！

いや、本当にね……。

こういうノリだから、ワナビ界の反面教師とか、後ろ指をさされるんでしょうね……。

まあとにかく、残念な失敗談はこれ以外にも山ほどあるので、これからも少しずつ紹介していきたいと思います。

こんばんは、らくだです。

オーバーラップ2期（8月締切り）の1次発表がありました。

というわけで、いつも通り通過データと、リンクを載せておきます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/>

応募総数 323作品

1次通過 44作品

通過率 約14%

応募総数が100以上増えましたね。

春に比べて夏は締切りが少ないせいでしょうか。

それにしても、思うんですが。

MFJやOVLの発表で、毎回お名前を見る方々は、一体何者なんでしょう。

だって締切りって、3か月に1回ですよ？

毎回投稿していて、しかも毎回通過するって、どういうこと？（汗）

ほんと、もうね。

執筆ペースが速くて、しかも面白いなんて、才能ありすぎです。

そういう天才さんは、さっさとデビューして、オイラに席を譲ってください。

ってわけで、1次通過したヤツら！

お前らなんて、このまま2次も通過して、受賞しやがれ！

以上、通過者の皆様への祝福を、ツンデレ風味にお届けしました。

こんばんは、らくだです。

突然ですが、近ごろ投稿仲間さんの間で、ハッピー・イベントが続いています。

デビューした投稿者さん。

転職が決まった投稿者さん。

長期留学へ旅立った投稿者さん。

ご結婚された（される予定の）投稿者さん。

投稿者として交流している方々なので、デビューがめでたいのは当然ですが、それ以外の慶事も本当に嬉しいです。

やっぱり、新しい一歩を踏み出すって、素晴らしいことですよね。

努力の過程を知っているだけに、なおさら、こちらの感動も倍増ってもんです。

そして同時に思ったんですが、小説投稿者さんって、実はリア充が多いような気が。

世間的には、オタクだの引きこもりだの、悪いイメージを持たれがちな投稿者。

そういう自分自身も、この世界に飛び込む前は、そういうものだと思っていました。

ですがいざ実際に交流してみると、小説投稿に対して真剣なのはもちろん、実生活も全力で頑張っている方々が、ものすごく多いなあーと感じます。

こう、なんて言うんでしょう。

投稿って、根性がないと不可能な行為なので、心の中にブレない芯があるというか。

そういう方々と意見交換するのは、自分にとって非常にいい刺激になるし、ブログをしていて良かったと思う部分ですね。

そんなわけで、自分自身も周囲を見習って、ステップアップを目指したいと思います。

外出先でトイレに入ったら、便座のフタが勝手に開いて、悲鳴を上げそうになった件。

今時のトイレって、便座のフタまで、自動開閉なのか……。
至れり尽くせりというか、お節介というか、別にそこまでしなくても……。

そうそう。
「勝手に開く」といえば、うちはマンションの高層階なので、いつも風が強いです。

そのせいか、窓を開け放っていると、部屋のドアが閉まるんですよ。
近くのドアだけじゃなくて、その窓からは結構離れた、遠くのドアにまで影響します。

これ、すごく単純なことなんですが、人生にも言えるんじゃないかなーと。

あるドアを開けたら、風の流れが変わって、別のドアが閉まる。
それとは反対に、あるドアを閉めたら、どこかで別のドアが開く。

この「ドア」っていうのは、たとえば投稿、仕事、恋愛、趣味、人間関係など、色々なケースがあると思います。

もちろん、今の景色に満足しているなら、閉めなくてもいいですけどね。
でも違和感を覚えているなら、無理しないで、あえて閉めちゃうのもアリかなと。

思い切ってドアを閉めたら、人生の風向きは、自然に変わると思います。
絶対に開かないはずのドアが、風の力で、すごく簡単に開くかもしれません。

というわけで、便座が勝手に開いた話から、シリアスな話題を展開してみました。

最近マジメな話が多いですが、このテーマについてもっと詳しく語りたいので、次回続きを書こうと思います。

最近やめることに関する記事を書いているせいか、心配の声をいただいておりますが、常木らくだは非常に元気ですのでよろしく哀愁！

さて。

昭和生まれをアピールしつつ、前回の話の続きなんですが。

「ドアを閉めたら別のドアが開く」というのは、自分が最初の会社をやめる時に、先輩に背中を押してもらった言葉です。

仕方ない話だとは思いますが、やめる時は、上司から散々罵倒されました。「お前は弱いから逃げるんだ」、「恥ずかしいヤツだ」、「悔しいなら続けてみせろ」。

へこみますよね。

自分は弱くて逃げ腰で恥ずかしい人間なんだって思いますよね。

でもいざ実際にやめてみたら、その後の人生が、信じられないほど拓けました。

何かをやめる時ってというのは、多かれ少なかれ、罪悪感がつきまといます。

でも、その選択に自信を持っているなら、余計な感情に振り回されなくて、ドアを閉めるのもアリだって思うんですよ。

ああ、いや。

もちろん自分は、仕事や投稿を投げ出すことを、推奨しているわけではないですよ。

ただ、長らく小説投稿を続ける中で、「やめたいのにやめられず苦しんでいる人」を多数見てきたので、そういう人達には是非この「ドアの話」を知って欲しいなあって。

投稿をやめても人生は終わらないし、その先に、別の夢があるかもしれませんよね。

結果を出せていない分際で、偉そうかもしれませんが、それだけは伝えたいです。

急に寒くなってきましたが、皆様、風邪など引いてませんか？

ちなみに自分は引きました。

風邪に注意と呼びかけつつ、自分自身が風邪を引く、反面教師のカガミです。

反面教師といえば、「どの賞に投稿したとか、逆にどの賞で落選したとか、あまり具体的に書かない方がいいですよ」という、助言をいただいたことがあるんですが。

確かに一理あると思います。

誰が見ているかわからない中で、手の内を明かすのは、得策じゃないかもしれません。

でも、自分は基本的に、「それでいいじゃん？」って姿勢ですね。

成功体験（あまりないですが）は、他の投稿者さんと共有したい。

失敗体験についても、それこそ悪い例として、誰かの役に立てばいい。

だから自分は、通過した時も落選した時も、事実をはっきりと書いています。

もし仮に編集者さんが見て、「常木はダメだ」と思われても、それはそれで構いません。

人目を恐れて事実を書かないなんて、そんな気取った姿勢で、何が投稿ブログだよって思いますし。

というわけで。

親切心からの助言だと思いますが、その部分は自分も了解した上で書いているので、心配していただく必要はありません。

もちろん、この姿勢を強要する気はないし、人それぞれでいいと思いますけどね。

自分はこれからも、「心は常に全裸」状態で、ブログを続けていこうと思います。

こんばんは、らくだです。

いきなりですが、今回は株の話です。

まず大前提として……。

どんな優良株であっても、上がり続ける一方なんてことは、現実的にあり得ません。

全体的に上がっているとしても、グラフを見れば、下がっている瞬間も多いです。

ここで必要なのが「忍耐力」です。

いったん下がる気配が見え始めると、このまま永遠に下がり続けるような気がして、手放したくなるもの
ですよ。

それで痛恨の一撃を回避できる場合もあります。

ただ、下がった時に売ってしまうと、当然の結果としてお金が減ります。

これ、ちょっと強引かもしれませんが、投稿にも言えるんじゃないでしょうか？

小説投稿の成績も、上がり続ける一方なんてことは、現実的に少ないです。

前に通過した賞で落ちるのは、何の不思議もなく、日常茶飯事に起こることです。

ここで投稿をやめてしまうと、上がる瞬間は、もう永遠にやって来ません。

逆に続けていれば、下がる可能性がある反面、上がる可能性だって当然あります。

まあ実際、「投稿は株みたいなもんだ」というのは、以前フォロワーさんが言っていた言葉で、今書いた
話はその受け売りなんですけど……。

でも本当に、途中でやめてしまったら、上がりようがないですもんね。

下がった瞬間は落ち込みますが、一喜一憂しすぎずに、広い視野を持ちたいものです。

数回にわたってドアの話を書いた後、「次は受賞へのドアを開く番だね」という、素敵なコメントをいただきました。

ありがとうございます。

しかし、応援は嬉しいんですが、そのドアはビクともしません。

本当にもう、押しても全然開かないし、引いても全然開かないし、誰か手伝ってくださいよ～！（涙）

でも、アレですよ。

受賞者さんに聞くと、デビューへのドアは、すんなり開いたって意見が多いですよ。

ちなみに、ここで言う「すんなり」というのは、努力をしてないって意味ではありません。

努力はもちろんしてるんだけど、会心の一撃が狙い通り受賞したわけじゃなくて、「ここでその作品が？」っていう意外な「すんなり」。

構えている時は開かなくて、力を抜いた瞬間に、そよ風のように自然に開く。

受賞へのドアって、結構そんな感じらしいので、力を抜いた方がいいのかもしれない。

あと、何度も何度も言っていて、聞き飽きたかもしれませんが。

ブログの内容をふまえて、頻繁にコメントをくださる方は、本当にありがとうございます。

以前は感想なんてほとんど来なかったんですが、最近は「毎日見えます」なんていう、嬉しい言葉もいただけるようになりました。

その割に更新が不定期で申しわけないですが（汗）、応援はとても励みになっているので、これからも引き続きよろしくお願いします！

風邪をひいてしまったと書いた後、「全裸だから風邪ひくんだ」みたいな、検索コメントが来たんですが。

ちげーよ！

ちゃんと「心は」って言ってるだろ！

いや、でもね。

ツッコミが来るのは、ありがたい話です。

ネタをスルーされるって、大阪人にとっては、最大の苦痛ですからね。

そんなわけで、応援のコメントやメールはありがたく、迷惑だと思ったことは全然ないんですが、1種類だけ困惑してしまうケースがありまして。

このブログは投稿ブログなので、「投稿は楽しいなあ、ルンルン！」って姿勢で、記事を書いているわけですよ。

そうすると、「いや、投稿は楽しいだけじゃなく、ツライことも山ほどありますよ」みたいなコメントが来るんですよ。

え、いや……。

そりゃもちろん、わかってる……けど？

むしろツライのが大前提だからこそ、楽しい部分に目を向けようとしているのに、そう指摘されても困るというか（汗）

でも困惑すると同時に、「きっとこの人も苦しいんだ」って愛しくなって、そこからメールの交流が始まったりするんですけどね。

まあつまり、内容を問わず、コメントはありがたいってことです。

ただ投稿がツライのは、自分も充分に知っているなので、教えてくれなくても大丈夫です。

こんばんは、らくだです。

エンターブレイン×東放学園主催のイベント、「えんため大賞スペシャルセミナー」が、11月24日（祝）に開催される模様です。

詳細は下記リンクをご覧ください。

えんためへ投稿する予定の方は、特に要チェックのイベントです。

【特設ページ】

http://www.tohogakuen.ac.jp/events/20141124_entame/

え？

お前は参加するのかって？

いや……。

行きたいけど無理っすよ……。

だって参加資格が、『えんため大賞』に応募を検討している、または東放学園に興味がある、**中学生から25歳以下の男女**なんですもん（汗）

おい、ちょっと！

昭和生まれ不可って、一体どういうことだ！

しかもその部分、太字でさらに下線まで引いて、強調してあるし！

まあしかし、このブログは学生さんも読んでくれているようなので、自分は完全に対象外のイベントですが紹介してみました。

というわけで、もし参加する方がいらっしゃれば、後でこっそり感想を教えてください。

よろしく哀愁！

こんばんは、らくだです。

前回に引き続き、えんため大賞に関する話題を、もう一つご紹介。

以前チラッと話題にした、「えんため大賞・ボーカロイド楽曲部門」の詳細が、エンターブレイン公式サイトで発表されました。

【応募要項】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/vocaloid.html>

参加方法等の詳しい情報は、リンク先をご確認ください。

さすがに募集内容が内容なので、小説とは様子がだいぶ違います。

しかし、これ。

「歌詞を入力するだけで投稿できる」と聞いた時は、正直「？」と思ったんですが、実際に聴いてみたらどういう意味かわかりました。

【ボカロネット】

<http://net.vocaloid.com/>

ボカロネットに自作の歌詞を入力して、それからシンガーや曲調を選択すると、ボーカロイドが自動で歌ってくれるんですね！

ちなみに、ショートソングコースは、この機能を利用した自動作曲。

自分でがっつり作詞作曲したい場合は、フルソングコースも用意されています。

小説投稿とは全然違いますが、自分の創作世界を表現する手段として、こういうアプローチもありかもしれませんよね。

というわけで、ご興味をお持ちの皆様は、公式サイトをチェックしてみてください。

「らくだ図書館」を途中まで入力すると、グーグルの検索候補に表示されるよ！

と親切な方が教えてくれたので、試しに自分自身でやってみたら、本当に出るじゃないですか（驚）

今のところ、「らくだと」まで入力すると、「らくだ図書館」が表示されますね。
ペンネームも試してみたら、「常木」の入力で、「常木らくだ」が出てきました。

えっと？

検索候補に表示されるってことは、それだけ何度も、検索されてるってことだよな？

そう考えると嬉しいんですが、しかし本音を言ってしまうと、「有名なワナビ」よりも、「名もない作家」になりたいです。

だってワナビだもん……。

どれだけ頑張ったって、ステータスは低いよ……。

いや、誇りは持ってるけど、世間的にはやっぱりね……。

まあでも、「だからこそ」、自分は頑張っているわけですが。

世間は投稿者をわかってくれない。

それが不満なら、わかってもらうために、投稿者の日常を発信すればいい。

自分がブログを続けているのは、そういう趣旨もありますからね。

何も発信していないのに、不満だけ言うのは、ただのグチだと思いますし。

まあとにかく、そんなわけで。

いつか「ら」だけで表示される日が来るよう、そして投稿者の地位が今よりもっと向上するよう、自分は今後も発信を続けようと思います。

こんばんは、らくだです。

すでに各所で話題になっているようですが、集英社さんが女性向けの新レーベル、「オレンジ文庫」を創刊するらしいです。

公式サイトがオープンしているので、下記にリンクを貼っておきますね。
女性向け作品を書く方はもちろん、そうでない方も要チェックです。

【オレンジ文庫】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/>

新人賞があると聞いたので、さっそく内容を確認してみたんですが、コバルト文庫のノベル大賞で募集するみたいです。

これってつまり、

電撃大賞 ⇒ 電撃文庫、またはMW文庫で刊行

ノベル大賞 ⇒ コバルト文庫、またはオレンジ文庫で刊行

えっと。

たぶんこんなイメージでしょうか。

しかもこのレーベル、刊行予定の作者さんの名前や、表紙イラストの雰囲気などを見ると、かなり硬派路線という印象を受けますよね。

次回からジャンル不問になったとはいえ、「コバルト＝キラキラな恋愛物」という先入観があったんですが、これなら本当にジャンルを気にしなくていいかも……？

というわけで。

元々ノベルには投稿予定でしたが、自分も是非、チャレンジしてみようと思います。